

37回 白石市農業祭



▲協定書を掲げる各市の町内会・自治会の代表



▲市長や町内会・自治会の代表などが、交流促進を誓い握手を交わした

姉妹都市交流のさらなる発展を

白石市・海老名市・登別市自治会等連携協定締結式

11/7

11月7日(出)、宮城県白石市で、姉妹都市である登別市・白石市・神奈川県海老名市との3市間における町内会などの連携協定が締結されました。

3市の民間交流は、平成22年に海老名市長から「小田急口マンスカーの海老名駅停車を求める署名活動に協力願いたい」という要請を受けて、登別市連合町内会などから1万人を超える署名を引き渡したことをきっかけにスタート。平成23年の3市間での『トライアングル交流宣言』調印を契機に交流はさらに進み、住民間の自治体訪問や意見交換などを展開するなど、さまざまな交流活動が行われてきました。

そのような活動を行う中で、民間レベルで地域づくりや防災などの協力関係を築く機運が高まり、このたび、3市で民間組織による連携協定を締結することとなりました。

3市にまたがって町内会・自治会が広域の連携協定を結ぶのは、全国で初めてのことです。この協定により住民同士のつながりが強まり、3市の交流はこれからさらに発展していきます。

手の込んだ作品が勢揃い

市民会館サークル展

10月27日(火)から30日(金)まで、市民会館中ホールで『市民会館サークル展』(市教育委員会主催)を開催しました。

同展示会は、市民会館を中心に活動するサークルの作品を市民の皆さんに見ていただくことや参加サークル同士の交流を深めることを目的に毎年開催。木彫りやパッチワーク、押し花、絵画などの作品が並ぶ会場は、朝から多数の市民でにぎわいを見せ、訪れた方は、「素晴らしい作品が多く、目を楽しませてくれました」と話していました。来年の同展示会への参加希望団体は、社会教育グループ(☎011-29)まで。

10/27~30



▲参加生徒7人がデンマークへの派遣の様子を報告

交流で得たかけがえのない経験

平成27年度登別市デンマーク友好都市中学生派遣交流団帰国報告会

10/26

10月26日(月)、市民会館で『平成27年度登別市デンマーク友好都市中学生派遣交流団帰国報告会』(市主催)を開催しました。

8月7日(金)から14日(金)まで登別市の友好都市ファボー・ミッドフュン市を訪れた生徒7人は、派遣中のエピソードを織り交ぜながら各自の研究内容を発表。食生活や生活習慣、文化の違いなどに驚きながらも、現地の方と交流を深めることができた喜びを語りました。

また、参加生徒は「お金を貯めて自分の力でもう一度デンマークに行きたいです」と決意を新たにしていました。



▲各サークルの丁寧に作られた作品に心を和ませる来場者